

平成 26 年度第 5 回
千葉県社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 平成 27 年 1 月 15 日(木) 午後 7 時～午後 9 時
- 2 場 所 中央コミュニティセンター 8 階 千鳥・海鷗
- 3 出席者 (委 員) 畔上加代子、高野喜久雄、土屋稔、中田緑、西尾孝司、広岡成子、福留浩子、
松崎泰子、三宅康彦、和田和子
(委員 13 名うち 10 名出席) (敬称略)
(事務局) 高齢障害部長、高齢福祉課長、高齢福祉課介護予防・認知症担当課長
高齢施設課長、介護保険課長、高齢施設課長補佐他 6 名

4 議 題

- (1) 平成 27 年度あんしんケアセンター運営方針について
- (2) 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について
- (3) 平成 26 年度公募における地域密着型サービス事業者の選定について
- (4) 地域密着型サービス事業者の指定に係る意見聴取について

5 議事の概要

議事に先立ち、会議は一部非公開であることを確認した。

～ 議事 (3)、(4) は非公開～

- (1) 平成 27 年度あんしんケアセンター運営方針について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (2) 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (3) 平成 26 年度公募における地域密着型サービス事業者の選定について
事務局より資料に基づき説明を行い、意見聴取を行った。
- (4) 地域密着型サービス事業者の指定に係る意見聴取について
事務局より資料に基づき説明を行い、意見聴取を行った。

6 会議経過

	<p>議事に先立ち、事務局より会議は議題1、2が公開、議題3、4は非公開であることを確認し、その後、部会長が議長となり議事を進行した。</p> <p>～議題1 公開議事～</p> <p>議題1 平成27年度あんしんケアセンター運営方針について (富田介護予防・認知症担当課長より、議題1 平成27年度あんしんケアセンター運営方針について説明を行った。)</p> <p>議題1についての質疑応答</p>
松崎委員	<p>平成27年度千葉市あんしんケアセンター運営方針案ということで、次の第6期の介護保険事業計画を見据えた上で、あんしんケアセンターを平成27年度はこのような方針で運営したいということで課長より説明がありました。網掛け部分が平成26年度から変更になった箇所ということですが、この方針案についてご意見いかがでしょうか。</p>
西尾委員	<p>言葉の問題ではありますが、引きこもりの防止という言葉が使用されておりますが、通常、引きこもりという言葉は若い世代が家から出なくなるという言葉が指しています。高齢者であれば、閉じこもりという言葉を使用するため、その言葉の方良いのではないかと思います。引きこもりという言葉を使用した場合、あんしんケアセンターが20～30代も支援すると誤解されるのではないのでしょうか。</p>
富田担当課長	<p>ありがとうございます。こちらは、閉じこもりと改めさせていただきます。</p>
松崎委員	<p>その他、ご意見はいかがでしょうか。さらにいっそう、地域包括ケアシステムの機能強化をするというのが平成27年度の運営方針ですが。</p>
畔上委員	<p>2025年を見据えたということですが、千葉市ではどのような絵図を考えておりますか。</p>
富田担当課長	<p>2025年は世間的に言われていることは、団塊の世代が75歳になる年とされており、千葉市の場合には高齢者人口がピークを向かえると推計しています。その時に様々な地域包括ケアシステムが構築しきれていないと、その後は高齢者人口が減っていくのではなくしばらく推移するとの数字が出ておりますので、しばらくの間は高齢の方の支援がそのまま続いていくことができるようなシステムが立ち上がっていないといけないと考えております。</p>

<p>畔上委員</p>	<p>活字で書けばこのような表現になりますが、課長自身がこの文章を起案する時に実際に実現が可能だと思いましたが。絵に描いたもちではなくて、もう少し具体的なことが必要ではないでしょうか。例えばセルフケアの推進だとか、地域で活躍するリーダー的存在の養成とか、分かりますがもう少し現場のことを知っていただきたいと思います。あんしんケアセンターの職員も大変ですが、民間事業者の現場は大変です。そのため、現在できないことが、2025年に出来るのかと思います。区役所の方や市役所の方はもう少し現場の目線で考えてほしいです。それぞれの過程が大事なため、その点が見える内容にしていきたいです。</p>
<p>松崎委員</p>	<p>あんしんケアセンターの運営方針であるため、方針内容が地域の中で機能しているかが分かるような運営方針にしていきたいです。運営方針であるため、抽象的な内容にはなるのですが具体的に活動ができる内容にしていきたいと思います。</p>
<p>土屋委員</p>	<p>説明内容を聞いていても何をどうしたいのか、伝わってきません。平成27年度の地域包括ケア構築の強化であります。何を強化するのか、平成26年度とどこがどう違うのでしょうか。例えば虐待の内容ですと「2地域のニーズに応じた重点的業務」から「1地域包括ケアシステムの構築・強化」に変更したため、何を変更したのか、もう少し分かりやすく記載した方があんしんケアセンターの方も分かりやすいのではと思います。</p>
<p>三宅委員</p>	<p>先日の日曜日の午後にあんしんケアセンターみつわ台圏域での地域ケア会議が開催され、当日の参加者としては会議の運営について心配しておりました。自治会長、民生委員、ボランティア集団等、かなり活発に活動されている方々が出席されましたが、口々に地域ケア会議の目的について質問されていましたが、センターの職員は答弁に窮しておりました。国が示す地域ケア会議の説明資料では、市サイドあるいは区サイド、あんしんケアセンターが一体となり会議を企画、運営するとなっておりますが、みつわ台の地域ケア会議の場合は市も区も出席しておらず、あんしんケアセンターに任されています。今回、開催された圏域では増設前のセンターとしては実施していたかもしれませんが、みつわ台は増設後の新規センターでもあるため、会議運営の最初は市が関与すべきではないでしょうか。休日でもあるため、各参加者が都合をつけて出席しているため、参加者からは期待外れで残念であると強い口調で批判される声がかれました。みつわ台だけが悪いのではなく、市全体として、推進計画を運営するためには地域ケア会議は重要な施策であるため、見直し等考えていただきたいと思ひます。</p>
<p>松崎委員</p>	<p>運営方針の中に簡単に記載されておりますが、実際に現状としては地域の協力者がいなくなっております。やはり、会議に出てよかったと地域包括ケアシステムの構築</p>

富田担当課長	<p>が実感できるような内容にしなければならないと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。運営方針については、部会長からもお話をいただいたように粗々抽象的に記載しております。実際にセンターから実施計画の提出を受けた場合、中身を双方で吟味して指導しているつもりでおりますが、なかなか机上の理論がぬぐえず反省しております。地域ケア会議は重要な会議と認識しており、三宅委員から参加者から強い口調で意味のない会議であったと声があがったり、松崎部会長からも周囲の協力がえられなくなるというご指摘については危惧しております。地域ケア会議については開催方法の研修ですとか、若葉区は市内でも地域ケア会議が国の通知に位置付けられる前から取り組んでおり、また区単位で合同開催をしていることからその場で経験を積んでいるという認識でございましたが、指導する市も認識があまかったと思います。心配なセンターには地域にでて会議の趣旨を説明し、出席者にご了解、ご理解、ご協力がいただけるよう説明をしていきたいと思っております。運営方針については小手先ではなく、内容を色々と検討したつもりであります。土屋委員からご指摘をいただいた何をしたいのかについてですが、この点は国が示す組み換えに沿った方針を項目立てした形であります。内容については、運営方針といえども少しは詳しく記載したいということを示した内容ではあります。大筋ではあります。各センターが行う実施計画については、ご説明できるようにしていきたいと思っております。</p>
松崎委員	<p>他にいかがでしょうか。</p>
中田委員	<p>運営方針の中で「1 地域包括ケアシステムの構築・強化」の中に組み込んだ内容は、具体的な取り組み内容が記載されているという理解でよろしいでしょうか。「2 地域のニーズに応じた重点的業務」と「3 関係機関及び関係者とのネットワーク構築」が「1 地域包括ケアシステムの構築・強化」の中に組み込まれており、同じ内容ではないかと感じてしまう部分があります。例えば「3 関係機関及び関係者とのネットワーク構築」であれば、取り組み内容としては、地域ケア会議ということで一つの項目を記載してあると推測しますが、そのような理解ですね。</p>
富田担当課長	<p>分かりにくく、申し訳ありません。</p>
広岡委員	<p>地域ケア会議という名称の会議に2～3回出席しました。個別ケース会議であったり、若葉区の地域ケア会議は大がかりで川崎市の方も視察に来ており、感想をきくと千葉市は会議の運営が進んでいるとの意見があったため、そのような認識をしておりましたが、三宅委員からの発言があったような会議はもう少し規模が小さいレベルの会議なのではないでしょうか。一般の方にも分かるような地域ケア会議の言葉の定義ですとか、柏市、船橋市や他市の地域ケア会議に出席している人もおりますので、様々な規模や内容があることから、その点の定義を整備されないとなかなか分かりにくいので</p>

富田担当課長	<p>はないかと思えます。</p> <p>ありがとうございます。地域ケア会議については、統一の趣旨の説明を参加者にすようにセンターに指導しておりますが、確かに様々な形があります。地域ケア会議の定義は、行政もしくはセンターが主催するようにと国はしております。個別の事例検討を重ねることによって、地域に足りないものですか、地域が抱える課題が出てくるだろうという点を地域のみなさんで検討しつつ、そのような共通の課題が蓄積してきた結果、この地域で何が足りない等の課題が見えてきましたらそれを行政に提言しましょう、そして地域の皆様が顔の見える関係づくりを進めていきましょうという趣旨で会議の開催を図っているため、固定のスタイルですとか、個別事例では出席するメンバーについてもバラツキがあり、模索しながら進めております。</p>
三宅委員	<p>先ほど私が申し上げたのは、日常生活圏域レベルでの地域ケア会議、個別事例での地域ケア会議とありますが、それぞれ設置範囲が違うと思えます。すべてを地域ケア会議としてしまうため混乱してしまいます。区レベル、市レベルとありますが、この前の地域ケア会議の前には個別レベルで出てきた課題が集約され、それを上のレベルにかけて、それでもあんしんケアセンターが対応できる部分を越えた範囲については、またその上のレベルに上げる等、段階を経ないで開催されたためうまく機能しなかったのではないのでしょうか。あと、地域ケア会議の名称も検討していただいてはどうでしょうか。</p>
畔上委員	<p>千葉市の地域ケア会議は段階的になっておりますか。</p>
富田担当課長	<p>段階的になっているところと、そうでないところがあります。本来的には個々のセンターごとに、小さい単位であればセンター単位で行ってから上にかけていくことが政策提言につながると思えます。本市の地域ケア会議の浸透の手法としては、モデル的に地域ケア会議を行うといったような、まずは区レベルを勉強してから小さなレベルを開催していくといった手法もあります。畔上委員が独自に開催した会議は必要性を感じておこなった会議であるため、三宅委員のご発言のとおり様々な会議があるため、市としても把握しきれていないことから、段階的にはなっていないとなります。</p>
三宅委員	<p>会議に出席したわけではありませんが、一昨年に国が主催した地域ケア会議の説明した資料でそのような記載があるため、地域ケア会議の趣旨と構造としてはそのようになっていると思えます。</p>
松崎委員	<p>根本的にはなぜ地域ケア会議が必要なのか、それが地域包括ケアにどうつながるのか、そのようなところが主催する側も参加する側も、あんしんケアセンターが地域ケア会議をまとめきれていないのではないのでしょうか。その時に区、市、社協はどのよ</p>

富田担当課長	<p>うに関与していますでしょうか。集まってきたケースを解決したい理由で開催しておりますので。</p> <p>あんしんケアセンターの実績報告でもご指摘を頂いておりますが、中身が見えてこないのご指摘もいただいておりますが、実際 24 センターそれぞれに得意分野、不得意分野が見えてきております。そこを平準化して、地域の方々の地域包括ケア推進に役立つようセンターを指導してまいりたいのですが、理想通りではなく、ほど遠いと感じております。各区保健福祉センターや社協等に対しても地域包括ケアという点で説明が不足していると感じております。地域包括ケアという概念も近年急に出てきており、その説明を尽くす機会を設けていない現状があるため、今後は説明をして構築していきたいと思っております。</p>
鳩川課長	<p>三宅委員から言われたご意見として、私なりに解釈しますと会議に出席する方の立場にたって運営しなければならないと思っております。参加者一人一人が自由に意見を言えるような雰囲気をつくってあげられれば不満は出ないのではないのでしょうか。それぞれの立場で、私であればこのような意見を発言できます等、単なる会議を一方的に開催して報告するだけではなく、そのような事例を紹介しつつ、ご意見をいただきたいという姿勢を会議で示していき、各関係者との連携が図れるような会議にしていきたいと思っております。</p>
松崎委員	<p>色々なご意見をいただきましたが、あんしんケアセンター運営方針が少なくとも平成 27 年度であれば、平成 26 年度までに見えている課題を記載したほうが良いのではないのでしょうか。国が整理していることもあります。どこを強化するかとか、ここに機能強化とあり第 6 期介護保険事業計画に入っていますが、少なくとも 3 年ないし 9 年間、その先の中でどこが弱いのか、どこを強化しなければいけないのか、特にほとんどが民間に委託しているため、その中でどのような運営方針にしなければならないかと考えていく必要があると思っております。その点では、ある程度市全体として示す部分とかをメリハリをつけて記載していく必要がありますが、この運営方針の記載の順番が強化順ということでしょうか。</p>
富田担当課長	<p>強化の順番というわけではありません。国がある程度示した順番であります。すべて大事な項目となります。</p>
和田委員	<p>居宅のケアマネが苦勞しております。連携を図るにしても大変であります。あんしんケアセンターが現場を理解していないのではないのでしょうか。ある多職連携会議で取り上げた事例はすべての参加者が発言できない事例でありました。センターとしては困っている事例ではないかと思っておりますが、現場のケアマネがその先の困りごとで苦勞しております。そのようなケアマネのための多職種連携会議であることをセンタ</p>

	<p>ーが理解していないのではないのでしょうか。多職種連携会議の事例について、多職種が提言できるテーマを選定していただきたい。その点も含めてセンターのレベルもあるでしょうが、現場のケアマネが苦勞していることを理解していないのではないかと思います。</p>
松崎委員	<p>その点については、運営方針に記載しております介護予防支援業務という中で、在宅で生活している方々についてどのように支援をするかについては、把握していただきたいのですが、その内容は業務の評価事業に入るのではないかと思います。その内容を方針に入れるのであれば、「4 介護支援専門員に対する支援・指導」がそこにあたるのでしょうか。センターが実態を把握して、困難な事例ですとか、地域の高齢者に対してのケアマネ支援をする点ではこの部分に記載することでよろしいでしょうか。その点で地域の実態をつかんでいただきたいということです。</p>
富田担当課長	<p>ケアマネ支援に対してもこの部会で、ケアマネ向けのアンケートの報告をいたしました。自由記載欄にこのセンターではなく、他のセンターに相談しますとの記載がありました。先ほど得意、不得意ということで述べさせていただきましたが、実際支援ができていないセンターにつきましても、実地指導や管理者面接でなぜ苦手なのかを聴き取りしているところではありますが、委員の皆様からのご意見からいたしましても、まだまだ指導が不足していると認識しております。</p>
松崎委員	<p>次年度の運営方針について、地域包括ケアシステム構築ですとか、機能強化という点ですので、冒頭のところに今の議論をくみ取って「1 地域包括ケアシステムの構築・強化」の部分について現状に沿いながら記載していただきたい。あとの項目については内容が網羅されているため、1 のカ所を訂正していただきたい。</p>
中田委員	<p>運営方針に地域支援事業に移行する点がふれておりません。今回の大きな介護保険法の改正にあたり、あんしんケアセンターが何を担っていくという点を記載することが一番大事であります。</p>
富田担当課長	<p>ありがとうございます。様々な具体的なご意見をいただいたため、再度全体を見直して伺い直したいと考えておりますが、3月の当部会までにセンターから運営方針を示したうえで事業計画を提出させなければならない状況であります。運営方針を改めた後、先生方にご意見をいただくかについて、どのようにした方がよろしいでしょうか。</p>
松崎委員	<p>会長、副会長に改めた内容を報告していただき、その後他の委員に報告するかたちをとりたいと思います。</p>

富田担当課長	ありがとうございます。そのようにさせていただきたいと思います。
西尾委員	<p>私は現場をもっておりませんが、「1 地域包括ケアシステムの構築・強化」の内容にミッションが示されておりません。センターは何をやる場所なのか、2025 年に向けて何をしなければならないか等、全体のミッションが示されておりません。これからすべての福祉政策が地域を焦点にして展開していきます。高齢者が増えていく中で若年層が減少して総人口が減少する、千葉市内で限界集落が発生するかもしれない中で地域に何を創っていかなければならないという中で、中核的な機関としてあんしんケアセンターがあるわけですし、今ある資源を組み合わせるのではなく、新たに資源を開発していく必要があります。何かをしようとするときに人が集まる空間が必要でありますし、当然不足しているところもあります。その中で市に政策提言していく存在がセンターである等のミッションをどこかで明示をすれば、個別のことは目標に照らし合わせてどのようにしていくかを考えれば良いと思います。それがないと、会議を開けと言われたので開催したという状況になってしまいます。そのため、目標を記載するとか、今後の運営方針に中長期的なことを書いて示した方が良いと思います。</p>
松崎委員	<p>そのご意見を含めて、冒頭の部分に記載させていただきたい。</p> <p>～議題 2 公開議事～</p> <p>議題 2 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について (小川高齢施設課長より、議題 2 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について説明を行った。)</p> <p>議題 2 についての質疑応答</p>
松崎委員	<p>グループホームガーデンコート花島は、小規模多機能型型居宅介護が併設されているのでしょうか。</p>
小川高齢施設課長	<p>認知症対応型共同生活介護事業所単独です。小規模多機能型居宅介護事業は、併設ではなく、運営実績として掲載しております。</p>
畔上委員	<p>積水化学工業が、今回グループホームの新規指定を受けた株式会社ヘルシーサービスの株式を全取得しましたが、市の方はご存知でしょうか。</p>
小川高齢施設課長	<p>把握しております。</p>

～議題3 非公開議事～

・・・非公開のため、発言内容も非公開・・・

～議題4 非公開議事～

・・・非公開のため、発言内容も非公開・・・

全ての議事について説明、質疑応答、承認が終了し閉会となる。